

東邦TL36H1C3S型  
セミトレーラ外観四面図



第2号様式(表面)

関自技第3604号  
平成27年3月4日

東邦車輛株式会社 殿

関東運輸局  
自動車技術安全部



概要等説明書(試作車・組立車審査結果通知書)

(指示事項) 本試作車は製造番号(TL36H1C3S-G001~G003)の3台限りとする。

車台番号は職権打刻を受けること。

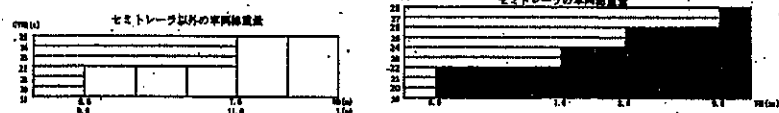
けん引車は日野 KS-SS1BKJA型(第5輪11.1t)で検討した。

本試作車は車両総重量について、保安基準緩和の認定を受けること。

主要諸元比較表 (試作車・組立車)

項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度	項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度
車名		東邦		乗車定員		—	
型式		TL36H1C3S		最大積載量kg		30,000	
自動車の種別		普通		前軸積載		10,616	≤10t
用途		貨物		(kg)		( )	
車体の形状		セミトレーラ		中軸積載		8,455	≤10t
燃料の種類		—		(kg)		( )	
原動機型式		—		車両総重量		8,480	≤10t
車台番号又は車台番号		—		kg		( )	
長さm	(10,400)	10,940	≤12m	後軸積載		8,460	≤10t
幅m		2,490	≤2.5m	(kg)		( )	
高さm		3,790	≤3.9m	計		35,980	≤20t~28t
軸距m		6.790+1.360		最大安定	左	※49	前傾角
		=9.510		傾斜角	右	※49	その値≥35°
軸距m	前軸	—		前軸		—	
	後軸	2,040		後軸		—	
室内又は荷台の内幅	長さ	4,000		タイヤ	後前軸	385/55R22.5 162J	(9,500kg)
制寸法	幅	2,480		サイズ	後中軸	385/55R22.5 162J	(9,500kg)
	高さ	—			後後軸	385/55R22.5 162J	(9,500kg)
車両重量kg	前軸積載	1,340		前軸荷重	空車	—	≥18,20%
	後軸積載	1,550		制合積車		—	
	中軸積載	1,550		タイヤ・ホイール径mm		0.890	φ12.1/20.2/21
	後軸積載	1,550				(4.755m)	
	計	5,990		荷台オフセットm		2,520	
				最小回転半径m		※10.2	≤12m

車両重量・積載等の表示



1.3m以上1.9m未満(1の車軸にかかる重量が9.5t以下である場合)  
16,920 kg ≤ 19t

能力強度等検討書

制動能力	踏力 — N 80 km/h 34.7. n	車軸強度	$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.6$
	空気圧 637 kPa		$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.3$
		路面強度	$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.8$
			$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.3$
車軸強度	$\sigma/\sigma \cdot 570 / (120,184 \times 2.6) = 1.89 \geq 1.6$	制動装置強度	$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.6$
	$\sigma/\sigma \cdot 450 / (120,184 \times 2.6) = 1.53 \geq 1.3$	連結装置強度	$\sigma/\sigma \times / \times = \times \geq 1.6$

注1: (試作車・組立車)の製には、積載するものをその中で読むこと。  
 注2: 能力強度検討書は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。  
 注3: 能力強度検討書は、必要に応じて項目を追加・削除することができる。  
 注4: ※印は、日野 KS-SS1BKJA型トラックと連結時の計算値を示す。  
 注5: 標準車長さ欄( )内の数値は連結装置の中心(キングピン位置)車両後端までの水平距離を示す。

(日本工業規格 A列4番)

第2号様式(裏面)

改造等の概要

目的	分割可能な貨物の安全輸送を図るため、低床式セミトレーラ(船車型)として新たに製作されるものがある。
車枠及び車体	全体の構造は橋車型で、主レールとクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。 突入防止装置は東邦 TF36H1C3S型セミトレーラ(24国自審第494号新06803号)と同一のものを取り付ける。
走行装置	東邦TF36H1C3型セミトレーラ(24国自審第494号新06803号)と同一。 車軸は高強度鋼で、中空角型断面デューブの両端に熱処理炭素鋼のスピンダルを溶接した構造を有する。
制動装置	東邦TF36H1C3型セミトレーラ(24国自審第494号新06803号)と同一。 主制動装置: 気圧内部拡張式 駐車制動装置: スプリング式 ABS装置を装着している。
緩衝装置	東邦TF36H1C3型セミトレーラ(24国自審第494号新06803号)と同一。 イコライザー付きトリプルスプリングサスペンションの半槽円板ばね型である。
連結装置	東邦TF36H1C3S型セミトレーラ(24国自審第494号新06803号)と同一。 第5輪方式である。JIS D8602に準じて製作してある。

注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。  
 注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和28年6月1日法律第185号)に基づく報告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第58条の2、第59条の3関係)

(日本工業規格 A列4番)

13804